

私が腔ケアにたどり着いた経緯

腔衛生協会 代表

CITUCA 開発 高林 裕果

皆さまは、デリケートゾーンをケアする事で「健康」に繋がっているという事をご存知ですか？  
なかなかイメージが付きにくいところではないでしょうか。まずは、『デリケートゾーンのケア＝健康』となる背景を、私の経緯を含めご説明させていただきます。

私が20代の頃、小児科のICU（集中治療室）にて看護師として勤務しておりました。小児科のICUでは、様々な重篤な疾患を患った子供達が日々懸命に生死と向き合い闘っているところです。ただただ「子供が好き」という思いから、私の看護師人生がスタートしましたが、日々ICU病棟の子供達と向き合う事で「健康である事が如何に貴重な事か」と痛感させられる日々でもありました。「健康である事が奇跡」そして、「健康である事が何よりの財産」という事に自分自身が直面したのはまさにこの時かもしれません。

また30代となり、自身の妊娠・出産を経て、より「健康である事が大切か」を体の変化と共に実感いたしました。

「妊娠する事」

「出産する事」

「子供が生きて産まれてくる事」

どれをとっても奇跡であります。このように20代、30代と様々な奇跡を感じ、健康の大切さを実感いたしました。

では、何故冒頭でお伝えした『デリケートゾーンのケア＝健康』となるのか。それは、私がこの頃ずっと続けてきた自己流のデリケートゾーンケアで健康を実感したからです。

20代の頃は看護師として昼夜逆転の日々で、身体もお肌もボロボロとなっておりました。そんな中、女性としてのエチケットとして、デリケートゾーンのケアを自己流ながら行っておりました。もちろん当時デリケートゾーンの知識も無いまま、手探りの状態でケアをしておりましたので、今思えば全てが正しかったとは言えません。

しかし、このデリケートゾーンを自己流でケアしてきて15年以上経った今、20代の頃よりも、体は健康でお肌のトラブルもありません。

また、ここ数年、私は自身の視野を広げたく、看護師を続ける傍ら、スキンケアの分野を勉強いたしました。そして「化粧品成分上級スペシャリスト」という資格を取得し、お顔のスキンケア講師も務めておりました。日々お顔のスキンケアを突き詰めていくうちに、デリケートゾーンのケアがお顔や、全身の潤いと健康に繋がっている事に気が付きました。

そうです！まさに、自己流で続けてきたデリケートゾーンのケアが健康と美に繋がっていたのです。

日本ではどこか恥ずかしさやタブーとされているデリケートゾーンのケアですが、実は、欧米ではとても日常的で、ドラッグストアにも沢山のデリケートゾーンのケア商品が陳列されております。

そこで私は、日本の全ての女性にも「デリケートゾーンのケアをもっと身近に」「デリケートゾーンの正しいケアを、正しいケア商品で行って欲しい」という願いから膣ケア商品「CITUCA [ちつ花]」を開発し、2019年発売開始しました。

デリケートゾーンのケアは、知れば知る程奥が深く、子供からご高齢の方まで誰にでも今日から出来る簡単な「日常のケア」という事を皆さまに知っていただきたいと思います。

\* Beautiful Connection (<https://beautifulconnection.co.jp/>)より抜粋

株式会社アニモメディカル 腔ケアプロジェクト ブランドディレクター

高林 裕果

CITUCA 開発者／正看護師／腔衛生士  
化粧品成分上級スペシャリスト  
(化粧品成分協会 CILA 化粧品成分検定 1 級)／  
スキンケア講師

小児科 ICU、整形外科病棟など最先端医療現場で経験を積み、その後美容皮膚科等クリニックにて美容部門立ち上げなどに携わる。看護師キャリア 20 年。現在は自身が 10 年以上実践してきたスキンケア・腔ケアの経験に看護師の知識をプラスしたトータルスキンケアシリーズの化粧品開発を行っている。